

行政・企業様向け資料

and more ,inc

Works

「こんな事業はできますか？」など、お気軽にお問合せ、ご相談ください。

PRODUCED BY

Message

**クライアント様のビジョンをしっかりと理解し
共に考え、課題の解決やビジョン実現のために
企画提案する会社です。**

人口減少や街機能の低下、働き手や担い手の不足。今ある資源も活用されなくなってしまうたり、地域における課題はますます山積みに。それでも我々は未来に向かって様々なチャレンジをしていかなければなりません。

たまによぎる弱い気持ち。「このままでいいや...」私どもは現状維持は衰退と同じ...と考えます。これからの激動の時代においても、諦めることなく、その地域らしさをより活かしながら、チームワークをもって磨き続ける。私たちは志に共感し、課題を解決するために一緒に歩んでいきます。何か解決したいことがありましたら、ぜひご相談ください。私たちは、クライアント案件だけではなく、自主事業も展開してきましたので、表面的な企画提案ではなく、様々な仕掛けを組み込み、地域を巻き込み永く愛され自走できる設計やその地域にあったオリジナルのご提案をさせていただきます。

Miho Kuji



クリスマスイベント -MISAWA ARTREIN- 協力：米軍基地 自主事業

▶私たちが初めて手がけたイベント、ミサワアートレイン。米軍三沢基地引き込み線跡地を活用したクリスマスイベント。地域の協力で集まった空き瓶を使いキャンドルが400メートル以上ある旧線路に並べられた。初めて「コンセプト」設定や、地域の人たちを巻き込むという経験をした企画。何もかもが初めてで、試行錯誤しながら、どれだけ手をかけられるか、自分達で作るか、イベント前から様々な仕掛けをしいかにワクワクドキドキの空気感を作っていけるか...汗水流しながら、チームのこと、そして関わってくれる方たちのこと、当日参加してくれる人たちのこと、たくさんたくさん考え、苦労の連続の日々でした。だからこそその達成感は半端なかったし、人生で初めて誰かの笑顔を想い、チームで考え、こんなにも物事に本気になれるんだと感じられた企画でした。何より圧巻だったのは空瓶の寄付を募り、約4,000個ものキャンドルを灯すことができたこと。これは、たくさんの人たちの協力や想いがなければできなかったこと。この経験が、今の活動の原点とも言えます。



ふるさと教育事業 / 地域を知る・体験する

依頼内容：地域の子どもたちにふるさとの良さを伝えたり、ふるさと愛醸成につながるような企画をしてほしい。

▶10年ほど前から取り組んできた、得意分野の事業です。その地域の歴史や文脈を捉え、事業を細かく設計します。地域のもの・ひと・ことに触れ、遊びや体験から学ぶことはたくさんあります。体験を通して、自分の好きや得意に気付いたり、知らなかった自分の一面に触れる機会にも。上記の写真の事業は、全6回（月1、2回）の渡り行った事業で、特産品である「紅玉」の収穫体験の後、そのまま工場へ運び「りんごシャーベット」を作りました。シャーベットを詰めるカップのデザインは子どもたちがオリジナルで作成。この日はキャンプ場で一泊し翌日のキャンプ場での音楽イベントで、販売まで行いました。体験を通し、地域の特産品やそれを作っている生産者さんとの交流、そしてその収穫したものがどう加工され、販売されるのか、など普段学校や家ではできない体験がたくさんあります。その地域の魅力を体験を通して感じる・知る機会、そして知ることさらに身近に感じ、自分ごとになっていく体験はとても大切だと感じます。じっくりゆっくり地域の魅力に触れながら、地域愛を育む事業です。



首都圏販売体験 / 地域の生産者さんと関わり気づき・学び・伝える・感じる

依頼内容：上記事業と組み合わせて地域外の人たちへもPR、伝える体験事業を行いたい。

▶上記事業をさらに地域外に人たちへPR/販売体験として行いました。仕入も自分たちで行い、原価計算、輸送コスト、販売価格なども行います。地元ではもらえる野菜たちが、首都圏ではどれくらいの価値がありどれくらいの価格で販売できるのか。子どもたちも1年目は試行錯誤でした。体験してみてわかったことを次の年には後輩にも伝えながらの2年目。価格設定もしっかり考え、少し利益を出すことができたり、長芋の真っ白さを誉められたり、りんごのシャキシャキ感や甘さにびっくりされたり、無農薬の少し高いニンニクやごぼうが喜ばれたり、子どもたちは驚きの連続でした。売れ残らないよう、作戦を考え、声を張り、POPのデザインを見やすくしてみたり。初めての経験をたくさんたくさんできました。ここでは、自分がデザインが得意だと気付いたり、接客が好き、お薦めするのが上手、計算なら任せて！たくさんの気づきと学びがあります。そして、それぞれの個性や強みがぐーんと伸ばせるよう、事業も設計（環境づくり）しています。何より、帰ってからの日々の家族のコミュニケーションが増えたこと、親御さんも知らない地域の魅力を子どもから聞けることは参加させてよかった！と、たくさんの感想をいただきました。



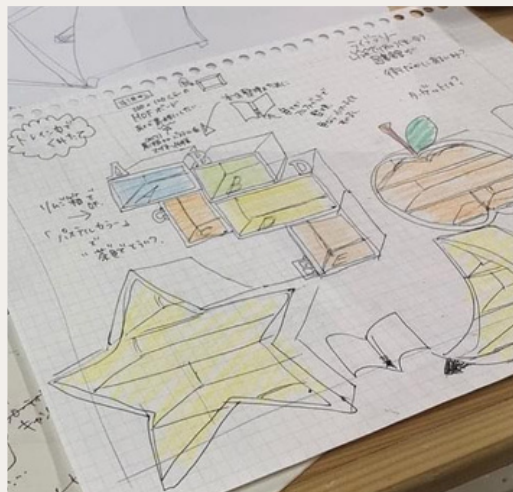
レモネードスタンド / 体験を通して起業家精神を養う

自主事業

▶レモネードスタンドは、元々、アメリカで小児がんと闘っていた少女が、「自分と同じような病気の子どもたちのために治療の研究費を病院に寄付したい!」と、自宅の庭にレモネードスタンドを開いたことが発祥とされています。そして、アメリカでは子どもの自立性や社会参加、そして経済観念を高めたり起業家精神を養うことを目的として、レモネードを販売させるのが風習となっていたりします。貢献の気持ちとビジネスマインドどちらも学べるということをベースに事業化しました。原価、売値、利益のこと、接客、販売のための作戦や屋台のデザインなど、子どもたちがビジネスの原理原則を楽しく体験を通しながら学べるオリジナル教育プログラムとして発展させたのがこの「レモネード屋台(スタンド)体験」です。自分たちで屋台のデザインを考え、自分たちで塗ったり装飾を考えたり。そしてレモネードの味も自分たちで調整します。レモンの値段、カップの値段、水で割るのか炭酸か? 販売価格はどうしよう? 隣のチームと競争するのか、全チームで協力して全体の売り上げを上げる作戦にするか? ここの役割はどうしよう? タイムサービスやっちゃう? たくさん考え当日を迎えます。そして、何より、お客さんの笑顔をたくさんみられたことにみんな満足そうでした。そしてここでも、自分の得意や好きに気づききっかけに。ここでの体験や気づきがきっと大きくなってから、地域を思い出すきっかけにもなるでしょう。



Before



商店街空き店舗活用 こども図書館プロジェクト

自主事業

▶「まちなかりビング」をコンセプトに、おしゃべりOK、グループ利用OK、飲食OKな子どものための図書空間を再現。全ての本が地域の人たちからの寄付によるもの。愛着ある絵本を次の誰かに...。誰かの役に立つなら...。想いの循環がこの場所で紡がれた。スタッフも子連れで働きながら、ワークショップの企画や運営を行い、地域の人たちが気軽に集るスペースになった。レンタルスペースや現在のシェアオフィスの原点だ。（コンセプト設計/空間デザイン/家具デザイン/コミュニケーションデザイン全般のディレクション）



PURPLE LIGHT UP プロジェクト

依頼内容：内閣府男女共同参画局が行うパープルライトアップ期間に合わせ、三沢市でもライトアップを行いたい。

▶11月の2週間「女性に対する全ての暴力の根絶」をテーマに全国で行われるパープルライトアップ。その活動に三沢市も賛同しライトアップを行うため、三沢基地メインゲート付近に設置してあるモニュメントを期間中のライトアップに合わせデザイン。折角の機会なのでライトアップだけではなく、市内の小・中学校、高校を周り「デートDV」をテーマにミニセミナーとパープルリボンのワークショップを開催。手作りしたリボンはモニュメントの装飾へ。まずは「知る」から始めることを大切に、情報に触れてもらう1年目とした。



プロサッカーチームヴァンラーレ八戸の選手とお友達大作戦！

自主事業

▶この年J3昇格を決めたヴァンラーレ八戸。地域にプロチームがあること、プロ選手が身近にいることはとても誇りで、サッカーkidsたちには多くの夢や希望を与えてくれます！そんな選手を小さな頃から身近に感じてほしい！そして本物のプレーに触れてほしい！そして、何よりチームのファンを増やして地域全体でもっと盛り上げていきたい！そんな思いで企画。サッカー選手11人との交流イベントのために、事前に代表の子どもたちが交流イベントの企画を考えたり、選手へのTシャツを作ったり、参加者へのプレゼントを手作りしたり。当日は200名を超えるファミリーが集まり、子どもだけでなく、パパママたちも一緒に選手とプレー！最高の盛り上がりでした。そして、会場の一体感にスタッフも涙。そして交流イベントの翌週には、希望者みんなで会場にホーム戦の応援に行きました！一緒に入場したり、試合後ピッチ上で一緒に写真も撮ったりと普段できない経験も。プロスポーツチームがある地域は経済効果も高く、地域活性化の一躍を担っています。もっともっとチームと一緒に地域を盛り上げていけたら…。コロナが落ち着いたらまた企画したいですね、とヴァンラーレさんとも話しています。ぜひうちの地域でも企画してほしいなどありましたらご連絡ください。

1月24日(月) 「公共」のイメージが変わる！ 街の未来を考える トークイベント開催決定！

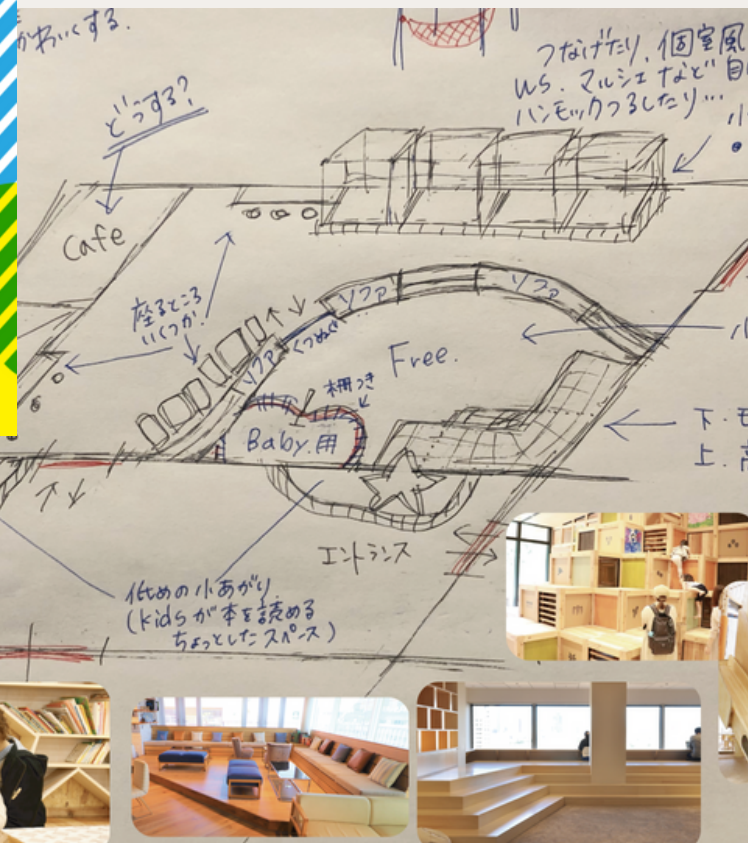
モデレーター
and more
久慈 美穂

有限会社 BACH
ブックディレクター
幅 允孝

山崎健太郎
デザインワークショップ
建築家
山崎 健太郎

株式会社
オンデザインパートナーズ
建築家
西田 司

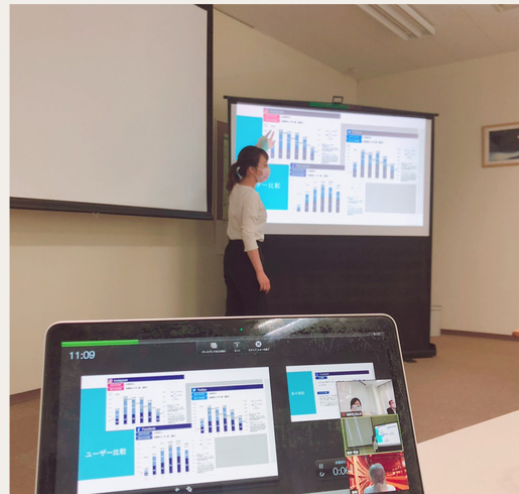
UR都市機構
地域づくり支援室
田中 良輔



公共空間リノベーション案件

依頼内容：子育て世代が求める屋内空間のイメージ案の提案（リノベーション）

▶ 2年ほどかけ、イベント等で子連れファミリーを対象にヒアリングを実施。さらにプロジェクトチームを組み、ミーティングを重ねイメージ案を提案。翌年には、さらに形にするため、公共空間を手掛けられた建築士さんやコミュニケーションの生まれる空間設計をディレクションされている方、「居心地のいい公共空間」をテーマに様々な事例をお持ちのUR都市機構担当者様らをお呼びしてトークイベント（勉強会）を地域に広く呼びかけ開催。その後も地域住民が関われる場を設け、コロナによりオンラインにはなってしまったが、社会実験的な場をバーチャル空間で再現し、さらにヒアリングを重ねながら意見を集約し設計士と協議を重ね、最終提案として行政に設計案を提出。



ワークショップの運営 / ファシリテーション

依頼内容：内容は様々です。ご依頼の内容に合わせてカスタマイズしご提案いたします。

▶「テーマ」に合わせた、ファシリテーション、ワークショップの設計、場づくりを行います。行政と地域の間支援役としてのご依頼が多くありますが、それ以外にもお気軽にご相談いただければと思います。リアル開催、オンライン開催どちらでも対応可能です。



Before



シェアオフィス and more

自主事業

▶2020年4月移転Open。和食屋さんだった場所をセルフリノベーション。居心地のいいシェアオフィスへと改装し、現在は5名の女性起業家が在籍しています。

入居者にとって「ただの事務スペースや働く場所」ではなく、より「価値ある空間」にするため、空間づくりはじめ、人とのつながりや、温かさ、安心できる場所、仲間や挑戦、豊かな生活...「働く」だけではない「and more...」がたくさん生まれますように、という想いで運営しています。

東北電の助成金活用

来年1月 スクール開講

三
沢

三沢 本県でのリターン就職や起業に関心を持つ女性向けに、女性の視点を生かして活躍する場をつくらんと、三沢市の市民団体「Missawaプロジェクト」(久慈美穂代表)は2020年1月から、新たな事業を始める。東北電気の21年「東北・新潟の活性化支援プログラム」の助成金35万円を活用し、キャリアデザインスクール「New me」を開講する。(岡田孝逸)

[illegible]

きる素晴らしい取
み」と述べた。



ひと
—散歩道—

三沢市でまちづくり活動を行う
地域活性化プロデューサー

くじ みほ
久慈 美穂さん(38)

女性が挑戦できる場を



「子どもが楽しくてデザインが自分らで寛容に出したり、冬休み中に室内で楽しこんだの。2011年に設立した三沢市の市民団体「Miss awaアートプロジェクト」で親子向けのイベントを企画。18年間団体の代表に就任し、昨春に元気につながることを

市内に女性企業支援のシェアオフィスを開設した。

アートプロジェクトの活動のモットーは「子どもが楽しくながら活躍が広がり、女性が活躍できる、そのついで軸に据えることが地域の元気につながる」と考えて

いま、子どもが成長して就職・進学で離れた後も「戻って来たい」「地域の役に立ちたい」と思えるまじむたいは、子どもがまじむたいは母親や女性が幸せを感じる事が大切ですから」「イベントは事前ワークショップを行い、子

「起業した経験と共有す。入居者はシャン、保育知識や得意分野メンバーが相互に高め合おうと思っています」

「コロナ禍で所でした。概して組んでいまーシェアアオ義は。」

「起業した経験と共有す。入居者はシャン、保育知識や得意分野メンバーが相互に高め合おうと思っています」

「コロナ禍で所でした。概して組んでいまーシェアアオ義は。」

▶女性活躍推進のため、起業に関する相談や講師としての登壇、取材も多くいただいております。今年度からは青森県庁より任命いただき「働く女性の象徴（ロールモデル）」としてあおりフルールのメンバーとしても活動しています。こちらでも、セミナーの登壇や、JBIA認定スタートアップアテンダントとして起業の応援をさせていただいています。女性がもっと自分らしく輝ける場づくりをこれからも整えられるよう進めていきます。

その他、ブランディング、コンセプトの作り方、デザインの基礎講座など開催しています。

CONTACT



and more,inc web site

Find Us Online
Kuji Miho



EMAIL ADDRESS
miho@andmore.ltd

PHONE NUMBER
090-5839-3464

MAILING ADDRESS
青森県三沢市中央町3丁目7-3A